

## 米国IT先進企業の特許テクノロジーから学ぶ 出願後の特許強化、日米中での有効権利活用法

～特許アイデアの抽出法と権利活用(電気、IT、機械制御編)～

新規  
講座

難易度  
中級

平成27年11月25日(水) 10:00～17:00

講師 河野 英仁氏 河野特許事務所 所長・弁理士



◆日本企業が世界的シェアを落としていく中で、Google、Apple、Amazon、MS等の米国先進企業が様々な分野にて世界的シェアを拡大しています。そしてその進出分野はロボット、自動車、物流、金融決済、IoT、エンターテインメントにまで及ぼうとしています。

◆新規事業分野参入に当たり、これら米国先進企業は斬新なアイデアを次々と生み出し、積極的に権利化を図っており、特許保有件数も急増しています。これら米国先進企業の特許は決して技術的に高度なものではなく、ひらめきと柔軟な発想でうまく既存技術を組み合わせたユニークなものであり、発明の発掘プロセスにおいて見習うべき点は多いです。

◆本セミナーでは、これら米国先進企業の特許テクノロジーの紹介を通じてどのように開発者がアイデアを生み出していくべきか、どのように事業を優位に結びつけるかのノウハウを開発研究者及び特許担当者向けに解説いたします。また出願後も競合他社の追従を許さないように特許を強化する必要があり、さらに米国及び中国といった係争リスクの高い地域での特許の有効活用を図る必要もあります。発明発掘から日米中での係争実務までを取り扱う経験豊富な講師が、出願後の特許強化、日米中での有効権利活用法、最新改正動向をも含め、丁寧に解説いたします。

### <講義内容>

- 米国先進企業の特許動向と施策
- Google, Apple, Amazon, MS, Disney, Facebook等の特許技術紹介
- アイデア抽出法と、発明発掘会でのポイント
- 競合他社に効くクレーム、訴訟・交渉で使えないクレームの撲滅
- 出願後のアイデア抽出漏れ対策
- 競合他社動向に応じた権利の修正
- 米国での権利取得上の注意点(保護適格性に関する最新情報、機能クレーム)
- 米国での権利行使時の注意点(均等論、間接侵害など)
- 中国での権利行使上の注意点
- 中国における特許権者保護強化に伴う法改正の解説

◇本講座は、研究開発者または企業特許担当者で、「電気、IT、機械制御」分野を専門に携わる方々にお勧めします。

◆日時：平成27年11月25日 (水) 10:00～17:00

◆会場：発明会館7階 研修ルーム

◆定員：50名

◆講師：河野 英仁氏 河野特許事務所 所長・弁理士

◆受講料：会員16,500円・一般19,000円 (※消費税8%込み)

◆申込：FAXもしくは、HPからお申込下さい。(http://www.jiii.or.jp 「研修のご案内」)